

令和5年

交通統計

大 竹 市
大 竹 警 察 署
大竹交通安全協会

はじめに

交通事故のない、明るく住みよいまちづくりは、市民だれしものが抱く永遠の願いです。

昨年（令和5（2023））年中における交通事故による死者数は、全国では2,678人（前年比2.6%減）と増加しており、広島県においても78人（前年比5.4%増）と昨年から増加しています。

大竹市においては、昭和50（1975）年以降、平成20（2008）年に事故発生件数・負傷者数ともに最悪の数値を記録することとなり、その改善に向けて取り組みを進めてきたところです。その効果もあってか、近年では事故発生件数・負傷者数ともに大幅に減少しています。

大竹市交通安全計画（第11次）では令和7（2025）年までに事故発生件数30件以下を目標に掲げており、一昨年は昭和50（1975）年以降で最も少ない事故発生件数24件でしたが、昨年は交通死亡事故の発生はなかったものの、事故発生件数は再び増加に転じております。

昨年の市内での交通事故の発生状況としては、車同士による追突や出会い頭での事故がその6割以上を占めています。また、違反を伴う発生の原因としては、前方不注意や安全不確認などが多く、時間帯としては昼間帯に多く発生しています。

また、コロナ感染症の影響による規制も緩和され、人車の移動増加に伴う交通事故の発生が懸念されます。

このような情勢のなか、交通事故を防止し、安全で安心な交通社会を実現するためには、これまで以上に関係機関・団体及び地域住民等が緊密に連携し、一体となって取り組みを進めていかなければなりません。そして、市民の皆さん一人ひとりが交通ルールを守り、思いやりと譲り合いの心をもって交通安全に努めていただくことが、何よりも有効であると考えています。

悲惨な交通事故を排除し、新たな生活様式に合わせた誰もが「明るく住みよい安全な大竹市」を実感できる社会の実現にむけて、この機会に交通安全に対する意識を高めるとともに、自分にできることは何なのか、どうすれば良いのかということ、改めて見つめなおし、実践していただければと思います。

この統計書は、令和5年中の交通事故のあらましをまとめたものです。

これからの交通安全活動の一助となれば幸いです。

令和6年2月

大 竹 市
大 竹 警 察 署
大 竹 交 通 安 全 協 会

も く じ

ページ

令和6年 広島県交通安全年間スローガン	-----1
令和6年 交通安全年間スローガン	-----1
令和6年 主な交通安全運動	-----1

[全国・広島県・大竹市の交通事故の概況]

1. 交通事故の概況	
(1) 全国の発生状況	-----2
(2) 広島県の発生状況	-----2
(3) 大竹市の発生状況（高速を除く）	-----2
2. 交通事故の推移	
(1) 事故件数	-----2
(2) 死者数	-----2
(3) 負傷者数	-----2

[大竹市における交通事故の概況]

1. 過去10年間の発生状況	-----3
2. 令和5年中交通事故発生状況	
(1) 月別発生状況	-----3
(2) 事故類型別発生状況	-----3～4
(3) 時間帯別発生状況	-----4
(4) 曜日別発生状況	-----4
(5) 路線別発生状況	-----4
(6) 道路形状別発生状況	-----4
(7) 原因別発生状況（車両の違反のみ）	-----5
(8) 年齢別死傷者の状況	-----5
3. 過去5年間の交通死亡事故の発生状況	-----5
★参考資料『全国・広島県・大竹市の交通事故の推移』	-----6

[大竹市の交通安全民間組織・道路状況・免許人口等]

1. 交通安全民間組織	-----7
2. 道路状況	-----7
3. 救急告示病院	-----8
4. 広島県・大竹市の免許保有者数	-----8
5. 安全運転5則等	-----9

【令和6年 広島県交通安全年間スローガン】

『 今日もまた あなたの無事故 待つ家族 』

【令和6年 交通安全年間スローガン】

(内閣総理大臣賞受賞)

○運転者（同乗者を含む。）へ呼びかけるもの

『 今日もまた あなたの無事故 待つ家族 』

○歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

『 身につけよう 交通ルールと ヘルメット 』

○子供たちに交通安全をよびかけるもの

『 わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり 』

【令和6年 主な交通安全運動】

春の全国交通安全運動	4月6日（土）～ 4月15日（月）
広島県夏の交通安全運動	7月11日（木）～ 7月20日（土）
秋の全国交通安全運動	9月21日（土）～ 9月30日（月）
年末交通事故防止県民総ぐるみ運動	12月1日（日）～ 12月10日（火）

1. 用語の意味

「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する「道路」上において、車両等によって起こされた人の死亡または負傷を伴う事故をいう。

「死者」とは、交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。

「負傷者」とは、交通事故によって負傷した者をいう。

2. 符号の意味

— 該当の数字なし

△ マイナス

[全国・広島県・大竹市の交通事故の概況]

1. 交通事故の概況

(1) 全国の発生状況

区分	令和5年	令和4年	増減数	増減率
発生件数	307,911 件	300,839 件※	7,072 件	2.4 %
死者数	2,678 人	2,610 人	68 人	2.6 %
負傷者数	365,027 人	356,601 人※	8,426 人	2.4 %

※印は、令和5年1月速報値公表後の修正を反映させた数値である。

(2) 広島県の発生状況

区分	令和5年	令和4年	増減数	増減率
発生件数	4,766 件	4,315 件※	451 件	10.5 %
死者数	78 人	74 人	4 人	5.4 %
負傷者数	5,602 人	5,088 人※	514 人	10.1 %

※印は、令和5年1月速報値公表後の修正を反映させた数値である。

(3) 大竹市の発生状況（高速を除く）

区分	令和5年	令和4年	増減数	増減率
発生件数	28 件	24 件	4 件	16.7 %
死者数	0 人	1 人	△ 1 人	△ 100.0 %
負傷者数	34 人	26 人	8 人	30.8 %

2. 交通事故の推移

(1) 事故件数

区分	平成31(令和元)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	381,237 件	309,178 件	305,425 件	300,839 件※	307,911 件
広島県	6,257 件	4,779 件	4,655 件	4,315 件※	4,766 件
大竹市	50 件	38 件	30 件	24 件	28 件

※印は、令和5年1月速報値公表後の修正を反映させた数値である。

(2) 死者数

区分	平成31(令和元)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	3,215 人	2,839 人	2,636 人	2,610 人	2,678 人
広島県	92 人	75 人	71 人	70 人	74 人
大竹市	3 人	2 人	2 人	1 人	0 人

(3) 負傷者数

区分	平成31(令和元)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	461,775 人	369,476 人	362,131 人	356,601 人※	365,027 人
広島県	7,643 人	5,648 人	5,495 人	5,088 人※	5,602 人
大竹市	61 人	46 人	33 人	28 人	34 人

※印は、令和5年1月速報値公表後の修正を反映させた数値である。

[大竹市における交通事故の概況]

1. 過去10年間の発生状況

年別	件数	負傷者数	死者数
平成26年	100 件	111 人	1 人
平成27年	92 件	115 人	
平成28年	77 件	95 人	
平成29年	67 件	85 人	1 人
平成30年	43 件	53 人	1 人
平成31(令和元)年	50 件	61 人	3 人
令和2年	38 件	46 人	2 人
令和3年	30 件	33 人	2 人
令和4年	24 件	26 人	1 人
令和5年	28 件	34 人	

2. 令和5年中交通事故発生状況

(1) 月別発生状況

月別	件数	負傷者数	死者数
1月	5 件	6 人	
2月	1 件	1 人	
3月	5 件	6 人	
4月	1 件	2 人	
5月			
6月	2 件	2 人	
7月	1 件	1 人	
8月	1 件	1 人	
9月	4 件	7 人	
10月	4 件	4 人	
11月	2 件	2 人	
12月	2 件	2 人	
合計	28 件	34 人	0 人

(2) 事故類型別発生状況

区分	人対車	車対車	車単独	合計
件数	3 件	25 件	0 件	28 件
死者数	0 人	0 人	0 人	0 人
負傷者数	3 人	31 人		34 人
件数の比率	10.7 %	89.3 %	0.0 %	100.0 %

人対車

区分	件数	比率
横断歩道	1 件	33.3 %
横断歩道付近		
横断歩道橋付近		0.0 %
横断中その他		0.0 %
横断中以外その他	2 件	66.7 %
合計	3 件	100.0 %

車対車

区分	件数	比率
追突	9 件	36.0 %
出会い頭	8 件	32.0 %
右左折時	4 件	16.0 %
追越追抜時	1 件	4.0 %
正面衝突	3 件	12.0 %
すれ違い時	0	0.0
車両相互その他	0 件	0.0 %
合計	25 件	100.0 %

車単独

区分	件数	比率
工作物衝突		
路外逸脱		
駐停車両		
転倒		
その他		
合計	0 件	0.0 %

(3) 時間別発生状況

区分	件数	負傷者数	死者数
0時から2時			
2時から4時			
4時から6時			
6時から8時	4 件	5 人	
8時から10時	6 件	6 人	
10時から12時	5 件	9 人	
12時から14時	1 件	1 人	
14時から16時	3 件	3 人	
16時から18時	5 件	6 人	
18時から20時	2 件	2 人	
20時から22時	1 件	1 人	
22時から24時	1 件	1 人	
合計	28 件	34 人	0 人

(4) 曜日別発生状況

区分	件数	負傷者数	死者数
日曜日	2 件	3 人	
月曜日	6 件	6 人	
火曜日	7 件	7 人	
水曜日	2 件	3 人	
木曜日	5 件	5 人	
金曜日	2 件	7 人	
土曜日	4 件	3 人	
合計	28 件	34 人	0 人

(5) 路線別発生状況

区分	件数	負傷者数	死者数
国道2号	12 件	17 人	
国道186号	4 件	4 人	
県道	2 件	2 人	
市道	10 件	11 人	
その他			
合計	28 件	34 人	0 人

(6) 道路形状別発生状況

区分	件数	負傷者数	死者数
交差点(信号有り)	11 件	15 人	
交差点(信号無し)	8 件	9 人	
単路	9 件	10 人	
その他		人	
合計	28 件	34 人	0 人

(7) 原因別発生状況 (車両の違反のみ)

区分	件数	
交差点安全進行	3件	
一時不停止等	2件	
追越し違反		
右左折違反		
通行区分	1件	
過労等	1件	
歩行者妨害等		
横断自転車妨害		
横断等禁止場所		
徐行場所違反	2件	
信号無視	1件	
優先通行妨害	1件	
最高速度違反		
酒酔い運転		
車間距離不保持		
踏切不停止等		
安全 運転 義務 違反	前方不注意	13件
	誤操作	1件
	安全不確認	5件
	動静不注視	1件
	安全速度	
	その他	2件
その他	1件	
不明	18件	
合計	52件	

(8) 年齢別死傷者の状況

区分	負傷者数	割合
高齢者65歳以上	7人	20.6%
60歳～64歳	1人	2.9%
50代	8人	23.5%
40代	6人	17.7%
30代	5人	14.7%
20代	3人	8.8%
一般10代以下	4人	11.8%
中学・高校生	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	34人	100.0%

区分	死者数	割合
高齢者65歳以上		
60歳～64歳		
50代		
40代		
30代		
20代		
一般10代		
中学・高校生		
小学生・幼児		
合計	0人	-%

3. 過去5年間の交通死亡事故の発生状況

発生日時	発生場所	死亡者	相手側	事故の概要
平成31年 3月8日 0:40頃	木野 岩国大竹線	準中型貨物車 73歳 男性	—	無人で自然発車した準中型貨物車が塀に衝突し、車外にいた運転者が車体とドアの間に挟まれたもの
令和元年 10月7日 6:00頃	玖波 国道2号	自転車 79歳 男性	大型貨物車 63歳 男性	信号交差点で歩行者用信号が青色となり、横断しようとした自転車に大型貨物車が衝突したもの
令和元年 11月13日 6:00頃	白石 市道	歩行者 83歳 女性	普通乗用車 28歳 男性	信号のない交差点において、横断歩道付近を横断中の歩行者に普通乗用車が衝突したもの
令和2年 6月24日 7:50頃	南榮 市道	自転車 84歳 男性	—	自転車運転中、単独で道路左側側溝へ転落したもの
令和2年 7月22日 10:40頃	港町 国道2号	普通自動二 19歳 男性	軽四乗用車 87歳 男性	信号交差点において、右折中の軽四乗用車が、対向を直進中の普通自動二輪車と衝突したもの
令和3年 3月29日 10:15頃	白石 市道	歩行者 89歳 男性	普通貨物車 82歳 男性	信号と横断歩道のない交差点において、右折中の普通貨物車が、横断中の歩行者と衝突したもの
令和3年 10月26日 12:30頃	新町 市道	自転車 86歳 男性	中型バス 61歳 男性	信号のない交差点において、東進中の中型バスと北進中の自転車が衝突したもの
令和4年 12月15日 17:10頃	玖波3丁目 国道2号上線	普通車 58歳 男性	—	普通乗用車で国道2号線を北進中、単独で民家壁面に衝突したもの

★参考資料 『全国・広島県・大竹市の交通事故の推移』

区分 年別	全国			広島県			大竹市		
	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数
	件	人	人	件	人	人	件	人	人
昭和62年	590,723	9,347	722,179	17,528	233	22,369	158	1	200
昭和63年	614,481	10,344	752,845	17,365	291	22,156	136	1	186
平成元年	661,363	11,086	814,832	17,463	277	22,491	138	2	179
平成2年	643,097	11,227	790,295	17,148	299	22,237	155	6	210
平成3年	662,392	11,109	810,245	16,117	279	20,807	129	4	177
平成4年	695,346	11,452	844,003	16,631	256	21,536	129	3	179
平成5年	724,678	10,945	878,633	17,374	295	22,312	134	3	182
平成6年	729,461	10,653	881,723	17,510	278	22,253	128	6	172
平成7年	761,794	10,684	922,677	18,010	296	22,757	123	2	163
平成8年	771,085	9,943	942,204	18,311	266	23,271	135	3	177
平成9年	780,401	9,642	958,925	18,264	238	23,176	137	1	171
平成10年	803,882	9,214	990,676	18,817	245	24,048	151	4	186
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	19,664	222	25,121	141	3	175
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	21,212	270	27,159	166	3	205
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	22,276	251	28,376	168	3	214
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	22,344	202	28,485	169	1	224
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	22,223	187	28,199	149	3	184
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	21,994	189	27,992	166	0	217
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	21,092	187	26,827	154	2	188
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	20,960	165	26,438	168	1	199
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	19,819	132	24,961	167	0	209
平成20年	766,394	5,209	945,703	17,705	128	22,194	201	2	242
平成21年	737,637	4,979	911,215	17,303	142	21,805	127	2	171
平成22年	725,924	4,948	896,297	16,546	127	20,653	127	0	153
平成23年	692,084	4,691	854,613	15,697	113	19,623	130	1	170
平成24年	665,157	4,438	825,392	14,849	125	18,486	107	0	126
平成25年	629,033	4,388	781,492	14,370	116	18,167	104	0	149
平成26年	573,842	4,113	711,374	12,479	117	15,600	100	1	111
平成27年	536,899	4,117	666,023	11,152	95	13,865	92	0	115
平成28年	499,201	3,904	618,853	9,763	86	12,289	77	0	95
平成29年	472,165	3,694	580,850	8,884	91	11,077	67	1	85
平成30年	430,601	3,532	525,846	7,582	92	9,277	43	1	53
平成31(令和元)年	381,237	3,215	461,775	6,257	75	7,643	50	3	61
令和2年	309,178	2,839	369,476	4,779	71	5,648	38	2	46
令和3年	305,196	2,636	362,131	4,655	70	5,495	30	2	33
令和4年	300,839	2,610	356,601	4,315	74	5,088	24	1	26
令和5年	307,911	2,678	365,027	4,766	78	5,602	28	0	34

※印は、令和6年1月速報値公表後の修正を反映させた数値である。

令和5年の全国件数及び負傷者数は令和6年1月時点での速報値である。

[大竹市の交通安全民間組織・道路状況・免許人口等]

1. 交通安全民間組織

名称	結成年月日	事務局	電話
大竹交通安全協会	昭和24年 4月 1日	大竹交通安全協会	52-3205
大竹市安全運転管理協議会	昭和42年 5月19日	大竹交通安全協会	52-3205
大竹交通安全母の会	昭和44年10月14日	大竹市 市民生活部自治振興課	59-2180
大竹交通安全運動推進隊	昭和46年 4月26日	大竹交通安全協会	52-3205
幼児交通安全わんわんクラブ	昭和48年11月 6日	大竹中央幼稚園	53-1144
大竹市青少年育成市民会議	昭和49年 7月20日	大竹市教育委員会 事務局生涯学習課	28-5680
大竹市自治会連合会	昭和52年 6月 1日	大竹市 市民生活部自治振興課	59-2180
大竹市自治会連合会女性部会	昭和54年 5月13日	大竹市 市民生活部自治振興課	59-2180
大竹市コミュニティづくり推進協議会	昭和56年 2月 5日	大竹市 市民生活部自治振興課	59-2180
大竹交通安全女性推進員	平成15年 5月24日	大竹交通安全協会	52-3205

2. 道路状況

道路別	本線	総延長	道路管理者
国道2号	1本	6.6 km	国土交通大臣
国道186号	1本	18.2 km	広島県知事
主要県道	2本	9.5 km	広島県知事
一般県道	6本	14.5 km	広島県知事
市道	448本	172.2 km	大竹市長
高速道路	1本	5.2 km	西日本高速道路株式会社

3. 救急告示病院

名称	所在地	電話
国立病院機構 広島西医療センター	大竹市玖波四丁目1-1	57-7151

4. 広島県・大竹市の免許保有者数

(1) 全免許保有者数

区分	大竹市			広島県		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
令和5年末	9,323人	7,549人	16,872人	984,686人	853,543人	1,838,229人
令和4年末	9,391人	7,543人	16,934人	989,683人	853,677人	1,843,360人
昨年対比	▲68人	6人	▲62人	▲4,997人	▲134人	▲5,131人

(2) 24歳以下

区分	大竹市			広島県		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
令和5年末	643人	488人	1,131人	68,119人	56,956人	125,075人
令和4年末	659人	508人	1,167人	69,438人	58,210人	127,648人
昨年対比	▲16人	▲20人	▲36人	▲1319人	▲1254人	▲2573人

(3) 65歳以上

区分	大竹市			広島県		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
令和5年末	3,061人	2,049人	5,110人	281,112人	197,516人	478,628人
令和4年末	3,024人	1,950人	4,974人	279,778人	191,310人	471,088人
昨年対比	37人	99人	136人	1,334人	6,206人	7,540人

保有者の性別割合

	大竹市		広島県	
男性	55.3%	9,323人	53.6%	984,686人
女性	44.7%	7,549人	46.4%	853,677人
合計	100.0%	16,872人	100.0%	1,838,363人

5. 安全運転5則等

安全運転5則

- ① 安全速度を必ず守る
- ② カーブの手前でスピードを落とす
- ③ 交差点では必ず安全を確かめる
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ⑤ 飲酒運転は絶対にしない

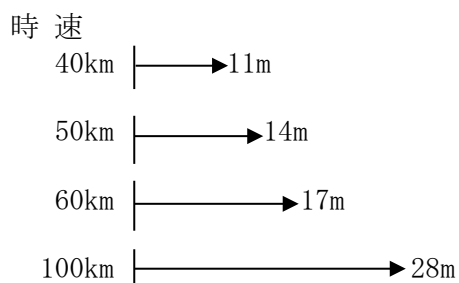
高速運転安全運転5則

- ① 安全速度を守る
- ② 十分な車間距離をとる
- ③ 割り込みをしない
- ④ わき見運転をしない
- ⑤ 路肩を走行しない

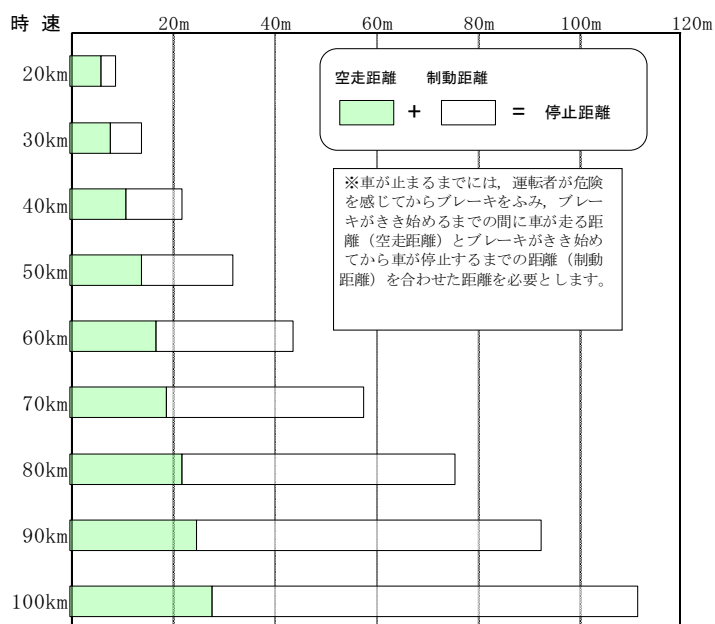
自転車安全利用5則

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

車が1秒間に進む距離



ブレーキをかけて止まるまでの距離





おおたけ PR キャラクター
コイちゃん

大竹市ホームページ



広島県警察ホームページ

